

事業種類		農業基盤整備		事業名		県営中山間総合整備								
市町村名		木祖村		ふりがな 箇所名 きそがわけんりゅう さと 木曾川源流の里		事業年度 (完了年度は見込み)		H26 年度～ H31 年度						
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)		財源内訳(千円)							
	全体	用排水路工 8,230m、農道工 5,290m、鳥獣防止施設 3,000m 集落環境管理施設(堆肥化施設) 1箇所			1,500,000		825,000		225,000		405,000		45,000	
	H26年度	測量・設計 1式、鳥獣侵入防止施設 3,000m			100,000		55,000		15,000		27,000		3,000	
箇所評価	区分	評価項目・指標等			評価区分				①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)			
	必要性	受益面積	<input type="checkbox"/> 100ha以上	<input checked="" type="checkbox"/> 80ha以上～100ha未満	<input type="checkbox"/> 60ha以上～80ha未満					10	0.3	27		
		人・農地プランの作成	<input checked="" type="checkbox"/> プランの見直し(ステップアップ)を予定	<input type="checkbox"/> プラン作成済	<input type="checkbox"/> 作成されていない					20				
		6次産業化への取組	<input checked="" type="checkbox"/> 地元組織が活動中である	<input type="checkbox"/> 地元組織設立の計画がある	<input type="checkbox"/> 現在のところ地元組織の活動はない					20				
		地域資源を活用した取組	<input checked="" type="checkbox"/> 取組を実施している	<input type="checkbox"/> 計画中である	<input type="checkbox"/> 取り組んでいない					10				
		都市農村交流	<input checked="" type="checkbox"/> 計画調整済	<input type="checkbox"/> 計画調整中	<input type="checkbox"/> なし					10				
		地域用水機能	<input checked="" type="checkbox"/> 機能を有する	<input type="checkbox"/> 機能を有しない									10	
		生活道路機能	<input checked="" type="checkbox"/> 機能を有する	<input type="checkbox"/> 機能を有しない									10	
	小 計									90				
	重要性	市町村計画での位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 位置付けあり	<input type="checkbox"/> 位置付けなし							30	0.2	20	
県農政の重要施策への取組		<input checked="" type="checkbox"/> 2つ以上推進している	<input type="checkbox"/> 1つを推進している	<input type="checkbox"/> 取組なし					25					
設計上の環境配慮項目		<input checked="" type="checkbox"/> 配慮項目あり	<input type="checkbox"/> 配慮項目なし							25				
3法指定状況		<input checked="" type="checkbox"/> 3法指定地域	<input type="checkbox"/> 2法指定地域	<input type="checkbox"/> 1法指定地域					20					
小 計									100					
効率性	費用対効果(B/C)	<input type="checkbox"/> B/C 1.2以上	<input checked="" type="checkbox"/> B/C 1.1以上～1.2未満	<input type="checkbox"/> B/C 1.0以上～1.1未満					20	0.15	9			
	事業効果の早期発現度(事業年数)	<input type="checkbox"/> 5年以内	<input checked="" type="checkbox"/> 6年以上10年以内	<input type="checkbox"/> 11年以上					15					
	コスト削減の取組	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の取組あり	<input type="checkbox"/> コスト削減の取組なし	<input type="checkbox"/>					30					
	小 計											65		
緊急性	農地・水・環境の保全活動面積	<input checked="" type="checkbox"/> あり(25%以上)	<input type="checkbox"/> あり(25%未満)	<input type="checkbox"/> なし					40	0.15	15			
	耐用年数を経過した幹線水路の延長割合	<input checked="" type="checkbox"/> 50%以上	<input type="checkbox"/> 25%以上50%未満	<input type="checkbox"/> 25%未満					30					
	耕作放棄地の解消	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村全体の構想がある	<input type="checkbox"/> 一部地域の構想がある	<input type="checkbox"/> 構想策定中					30					
小 計									100					
計画 熟度	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の内発的な活動が強い	<input type="checkbox"/> 市町村からの要望がある	<input type="checkbox"/> 特に要望がない					30	0.2	16			
	事業情報の共有	<input checked="" type="checkbox"/> 広く一般に周知	<input type="checkbox"/> 関係者を中心に周知	<input type="checkbox"/> 特に周知してない					30					
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/> 住民が計画策定に直接参加	<input checked="" type="checkbox"/> 住民や市町村の意見を計画策定に反映	<input type="checkbox"/> 特に住民意見は反映していない					20					
小 計									80					
費用対効果(B/C)		1.1			評価の合計						87			
事業 周辺 環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	<p>狭隘な山間に位置する木祖村では、標高1,000mの冷涼な気象条件を活かし、「御嶽はくさい」や「とうもろこし」、「木曾牛」を主体とした農業が営まれている。木曾農業のブランドである「御嶽はくさい」は、主に中京・関西方面に出荷されており、安定した品質は消費者から高い評価を受けている。しかし、近年、市場価格の下落や農業従事者の高齢化、野生鳥獣被害等により、耕作放棄地の増加や老朽化した農業用施設の維持管理が農業振興の支障となっている。また、地域資源を活かした6次産業化への取組支援や土づくりを強化し環境保全型農業を推進するための堆肥化施設の増強が課題となっている。</p> <p>このため、村では木祖村第4次総合計画において、農産物の高付加価値化や観光資源と結びつけた農業を発展させ、耕作放棄地の解消を図るとともに、農村集落の維持と安全を確保していくこととしている。</p>												
	地域からの要望経緯	事業実施について、自治会や地域住民、受益者から村へ要望。村は、木祖村第4次総合計画との整合を図り、事業実施を県へ要望している。												
	事業説明等の経緯	自治会長会議で事業説明した後、各自治会の行政懇談会において説明している。村議会に対して事業説明及び現地踏査を行い、了解を得ている。(H25.5) 受益者や地域住民を対象とした地元説明会等を通じて意見等を集約し、合意形成を図っている。												
	環境・景観への配慮項目	既設石積水路の改修においては、石材を再利用することで、景観と水生動植物の生息環境に配慮する。												
	他事業・プロジェクトとの関連	鳥獣被害防止総合対策事業(H21～H26、村全体5.8km) 遊休荒廃地でそばを栽培するなど耕作放棄地の解消や、農地・水保管理支払事業を活用した取組が実施されている。H24年度に人・農地プラン作成済。H25年度に地域や集落での話し合いを通じたプランへの見直しを予定している。												
	特記事項	木祖村ではNPO法人を始め多くの団体による特産品の開発が盛んであるが核となる施設がなく、また、各団体の施設が狭く安定した製造や開発等が困難な状況となっている。												
地域の合意形成	<input type="checkbox"/> 全員賛成	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね賛成	<input type="checkbox"/> 過半数賛成	<input type="checkbox"/> 動向不明										
部意見	担い手等による農業生産と地域資源を活用した6次産業化や環境保全型農業の推進等、地域の再生活動を支えるための農業生産基盤と農村生活基盤の整備を総合的に行う必要があり、重要性、必要性が高い。				行政改革課 意見	御嶽はくさいなどの安定生産、農家の維持管理の軽減、6次産業の推進する必要があることから、重要性、緊急性が高く、必要性も認められる。								
長野県公共事業評価監視委員会意見		県の自己評価は妥当と判断する。												